



令和3年10月6日

＜教育目標＞ ○すすんで学び、高い知性を身につけよう ◎社会の一員として、思いやりのある人になろう
○希望をもって、ねばり強くやりぬく人になろう ○からだをきたえ、健康な人になろう

文化発表会に向けて

校長 金井 誠

去る9月30日（木）に緊急事態宣言が解除され、10月24日（日）までの「東京都におけるリバウンド防止措置」に移行しました。学校の教育活動も、部活動等、これまで制限されていたものが少しずつ緩和されていくことになりそうです。10月16日（土）と18日（月）の文化発表会も、今のところ予定どおり実施する方向です。生徒の皆さんが一所懸命に取り組んだ貼り絵や合唱で、どのような成果が見られるのか、とても楽しみにしています。保護者の皆様にも、制限がある中ですが、ご覧いただき、励ましのお言葉をお掛けいただけたら幸いです。

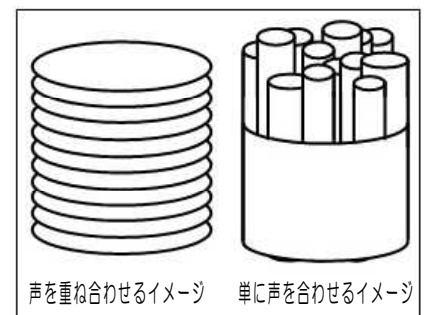
今年度の文化発表会では、次の4点を目的としています。

- 1 自主性や協力する姿勢を養うとともに、緑中の文化的活動の向上を図る。
- 2 互いに切磋琢磨し、努力を認め合う。
- 3 芸術に対する鑑賞態度を養う。
- 4 生徒と教員が一丸となってひとつのことを成し遂げる。

これらの目的を達成するためには、実は、生徒の皆さんにはたくさんのことを意識してもらわなければなりません。自主的に取り組むこと、協力し合うこと、緑中の文化的活動の歴史を知ること、互いに切磋琢磨し合う中で互いの努力を認め合うこと、芸術を理解すること、担任を含めクラス全員で一つの目標に向かって行動すること、合唱に特化すれば、歌を合わせることで喜びを感じ取ること、他学級、他学年の演奏をマナーよく聞くこと、心を豊かにすること…。もちろん、文化発表会当日だけで、これらのことが一度にできるわけではありませんから、準備や練習の段階からこれらを意識して取り組んでいく必要があります。時には互いの主張がぶつかり合ったり、クラスメイトの取り組み方に満足できなかったりすることもあるだろうと思います。特定の人が我慢するのではなく、話し合い、互いに分かち合い、少しずつ譲り合って課題を乗り越え、全員が納得できる、満足できる文化発表会になることを願っています。

さて、ここからは合唱についての話になります。以前勤めていた小学校がNコン（NHK学校音楽コンクール：本校は平成15年の全国コンクールで金賞（＝全国1位）に輝いています。）に出場した際、結果発表の前に審査員の方が歌詞について話したのですが、それが今も印象に残っています。「繰り返される歌詞にも意味がある。なぜその歌詞をその場面で繰り返すのか、何を伝えたいのか、そのようなことまで深く理解して表現することが大切だ。」という内容でした。想像するに、メロディーにおいても、例えば「なぜここはff（フォルテシモ）なのか、一つの作品を作り上げる中でどういう意味があるのか。」ということまで理解することが大切だ、ということだと思ふのです。「作者は何が言いたいのか、歌い手（つまり生徒の皆さんです）をとおして何を伝えようとしているのか。」ということを理解した上で歌ってほしい、という意味だと思ふのです。作者の意図を理解し、そこにクラスとしての思いを乗せ、一人一人がクラスとして伝えたいことを明白をもって歌ってほしいと思ふます。

最後に、「合唱」は単に声を合わせて歌うことを言うものではありません。隣や周りの人の声を聴いて、それに自分の声を重ね合わせるイメージをもち、一つのまとまりを作っていくことが大切です。右の図を見ると、声の量や出し方がまちまちでは、きれいな一つのまとまりにならない感じが感じられると思います。一つのまとまりにするには、隣や周りの人の声を聴かなければなりません。しっかり聴いて、丁寧に声を重ねて、そのように歌っていく中で、クラスのまとまりを見せてください。



声を重ね合わせるイメージ 単に声を合わせるイメージ